

株式会社 三国自動車

2019 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2019 年4月1日～ 2020 年3月31日)



作成日: 2020/7/22
改定日: 2020/11/25

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	1
組織の概要	2
事業・製品の紹介	2
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
主な環境負荷の実績	4
環境経営目標及びその実績	4
環境経営計画の取組結果とその評価	5
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	6
代表者による全体の評価と見直し・指示	6

環境経営方針

<環境経営理念>

益々深刻化する地球温暖化は化石燃料の大量使用で発生するCO2排出と森林の伐採によるCO2吸収浄化作用の激減が最大の原因と思われます。私達、自動車整備販売業に携わる事業者として社員一丸となって、自主的・積極的にCO2の削減（燃料・電気・水の無駄遣い改善）お客様には中古部品の活用、エコカーの販売、エコ整備、エコドライブの説明有効活用を勧め、積極的に、継続的に地球に優しい環境保護活動に取り組みます。また、物品等の購入の際にはグリーン購入に努めます。

<環境保全への行動指針>

- 1． 会社全体をあげ、力を合わせて環境問題に取り組みます。
- 2． 環境保全対策を推進する体制を整備します。
- 3． 特に、水・電気・ガソリン・軽油の使用、廃棄物の削減に取り組みます。
- 4． 環境関連法規制を遵守するほか、環境保全に関わるその他のルールを守ります。
- 5． 社員全員に環境問題に取り組む意識を高める教育をします。
- 6． 環境に配慮して商品の販売やエコ整備、エコドライブの説明に努めます。
- 7． 化学物質の使用量の削減に努めます。
- 8． 部品等の購入の際には、グリーン購入に努めます。

制定日： 2009年10月26日

改定日： 2010年11月1日

改定日： 2015年10月1日

改定日： 2020年11月25日

代表取締役社長 **植林 晃平**

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

(株)三国自動車
代表取締役社長 植林 晃平

(2) 所在地

本 社 大阪府和泉市大野町 1011-3

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 植林 晃平 TEL : 0725-99-0825
担当者 森田 眞由美

(4) 事業内容

自動車車検・整備業 板金・塗装業 新車・中古車販売 関連商品販売 保険業務

(5) 事業の規模

売上高	4億8100万円
従業員	19名
延べ床面積	5940㎡

(6) 事業年度 4月1日～3月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社 三国自動車

対象事業所： 本社・工場

活動： 自動車車検・整備業 板金・塗装業 新車・中古車販売 関連商品販売 保険業務

□事業や製品(商品)の紹介

車検・整備

国家資格を持った整備士たちが
お客様のお車を責任もって整備しま
す。

トラック、外車、ハイブリッドカー、



钣金・塗装

小さなキズやひこみの修理から大きな钣金修理まで
お客様にとって最善の修理方法、修理金額をご提案
させていただきます。お見積もりは無料です。

外車もちろんお任せ下さい。

お気軽にご相談下さい！

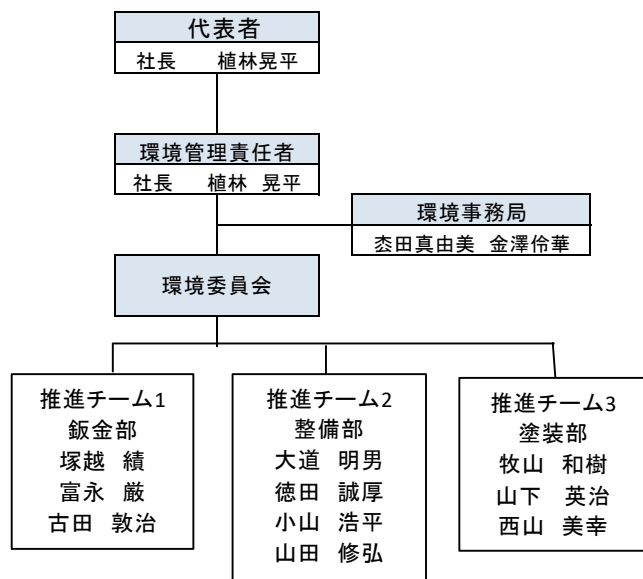
新車・中古車・保険

全メーカー取り扱いしておりますので、
普通車、軽自動車など様々な
お車から比較、検討し、お選びいただけます。
また、各種保険も取り扱っておりますので
自動車保険・火災保険・生命保険なども
ご提案させていただきます。



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2020年10月1日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 実施体制の構築 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2016年	2017年	2018年	2019年
総二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	59,587	67,475	61,348	64,399
廃棄物排出量	トン	8.4	7.6	8.4	8.6
一般廃棄物排出量	トン	30.0	3.2	3.7	4.3
産業廃棄物排出量	トン	5.4	4.4	4.7	4.5
水使用量（地下水を含む）	m ³	371	372	372	403

※電力の排出係数 0.522 kg-CO₂/kWh 2013年度関西電力の実排出係数

□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値		2019年		評価	2020年	2021年	
		(基準年)	(目標)	(実績)	(目標)		(目標)		
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	30,455	29,541	35,408			29,389	292,369	
	基準年度比	2016年	97%	116%	×		96.5%	96%	
	原単位	kg-CO ₂ /百万円	75.0	72.7	73.6			72	72
	原単位	基準年度比	2016年	97%	98%	×		96.5%	96%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	4,447	4,314	6,050			4,291	4,269	
	基準年度比	2016年	97%	136%	×		96.5%	96%	
	原単位	kg-CO ₂ /百万円	11.00	10.8	12.6			10.6	10.5
	原単位	基準年度比	2016年	98%	114%	×		96.5%	96%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	24,480	23,990	22,941			23,623	23,501	
	基準年度比	2016年	97%	94%	○		96.5%	96%	
	原単位	kg-CO ₂ /百万円	60.3	58.4	47.7			57.8	57.3
	原単位	基準年度比	2016年	97%	79%	○		96.5%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	59,382	56,762	64,399			57,303	57,007	
	基準年度比	2016年	97%	105%	×		96.5%	96%	
	原単位	kg-CO ₂ /百万円	146	141.6	130			140.2	138.7
	原単位	基準年度比	2016年	97%	89%	○		96.5%	96%
一般廃棄物の削減	kg	3,045	2,832	4,263			2,801	2,770	
	基準年度比	2016年	93%	140%	×		92%	91%	
	原単位	kg/百万円	7.5	7	8.9			6.9	6.9
	原単位	基準年度比	2016年	94%	119%	×		93%	92%
産業廃棄物の削減	kg	5,395	4,316	4,500			3,777	4,694	
	基準年度比	2016年	80%	83%			70%	60%	
	原単位	kg/百万円	13.3	11.8	9.4			11.7	11.5
	原単位	基準年度比	2016年	89%	71%	○		88%	87%
水道水の削減	m ³	248	228	269			223	218	
	基準年度比	2016年	92%	108%			90%	88%	
	原単位	m ³ /百万円	0.61	-	0.56			0.56	0.56
	原単位	基準年度比	2016年	-	92%	○		93%	92%
化学物質使用量の削減	kg	160	維持	41			維持	維持	
	基準年度比	2016年	適正管理	31%	○		適正管理	適正管理	
	原単位	kg/百万円	0.39	維持	0.10			維持	維持
	原単位	基準年度比	2016年	適正管理	26%	○		適正管理	適正管理
グリーン購入の推進 (グリーン購入回数)	回数(個)	274	290	261			293	300	
	基準年度比	2016年	+6%	95%	×		+7%	+8%	
エコ整備の推進	台	846	847	972			848	849	
	基準年度比	2016年							
エコカー販売の推進	台	73	74	69			75	76	
	基準年度比	2016年							
売上高	百万円	405		481					

※電力の排出係数 0.522 kg-CO₂/kWh 2013年度関西電力の実排出係数

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		×	<ul style="list-style-type: none"> 絶対値でも売上高原単位でも目標できなかった。 電気はこまめに消すようにしたり、エアコンの設定温度を守ることはかなりできている。 整理整頓を進め、作業効率をよくしていく。
・こまめに消灯する		◎	
・機械類の手入れをする		○	
・スチーム機作業油の給油を徹底		○	
・エアコンの温度管理をする		○	
・事務所は太陽光を活用する		○	
・塗装場の作業効率を良くする		○	
灯油の二酸化炭素削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		×	絶対値でも売上高原単位でも目標達成できなかった。
・スチーム機を正しく使用する		○	
・機械本体の手入れを行う		○	
・ストーブは必要な時だけつける		○	
・塗装時の作業工程は正しいか確認する		○	
自動車燃料による二酸化炭素削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		◎	自動車燃料使用量、売上高原単位とも目標は達成できた。
・引取納車を効率よく段取りする		○	ガソリン及び軽油の使用量が減少できたので、今後も達成手段を守り活動していく。
・急加速、急停車の防止		○	
・エコドライブする		◎	
・定期的に車両点検する		◎	
・積載車活用する		○	
一般廃棄物の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		×	目標未達成。
・裏紙を使用する		◎	従業員の増加や、入庫台数の増加で仕事量が増えたため、工場内でのゴミ量が増えてしまった。少しでも削減できるよう、分別、再利用などに努める。
・ミスコピーの防止		○	
・70ℓゴミ袋使用量の管理		△	
・可能なものは両面印刷する		◎	
産業廃棄物の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		×	産業廃棄物発生量は使用量では目標未達成であるが、原単位使用量では目標達成。
・オイルの漏洩がないように注意する		◎	今後も分別、再利用などに努める。
・廃油と汚泥について削減活動に取り組む		○	
水道水の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		○	水道使用量は基準値より上回ってしまったが売上原単位では目標達成できた。
・節水弁取り付け		○	今後できるだけ手早く作業を行い、無駄のないよう気をつけて進めていく。
・洗車が必要か確認する		○	
・蛇口から出す水量を弱くする		○	
・蛇口の締め忘れがないか確認する		◎	
化学物質使用量の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		◎	PRTR対象物質の含有量の少ないシンナーに変更することにより大幅に削減できた。これからもできるだけ環境に優しい塗料など選ぶように努めていく。
・水性塗料など環境に配慮した塗料を使用する		◎	
・無駄がないように工夫して塗料を使用する		◎	
グリーン購入の推進		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		×	目標未達成だった。できるだけリサイクルパーツを活用していく。
・環境に配慮した事務用品を購入する		○	
・リサイクル部品を使用する		◎	
エコ整備の推進		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		◎	目標を達成した。
・6カ月点検、12カ月点検車検整備の推進（タイヤ空気圧調整、オイル交換促進などを含む）		◎	点検のおしらせや、これからも安全性、燃費向上など点検することのメリットをお客様にお伝えし、エコ整備台数が増えるように努めていく。
エコカー販売の推進		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		×	目標未達成
・エコカー販売台数の向上		○	今後もエコカー販売を推進します。

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
水質汚濁防止法	貯油設置 油水分離槽
浄化槽法	点検、清掃、年1回測定
騒音規制法	コンプレッサー 設置届出
自動車リサイクル法	引き取り業者 処理、保管基準の順守
廃棄物処理法	分別基準の順守 マニフェストの交付、回収管理
フロン排出抑制法	業務用空調機の簡易点検
家電リサイクル法	テレビ・冷蔵庫・エアコンの破棄
PRTR法	化学物質の管理
自動車NOXPM法	指定地域
悪臭防止法	自社測定による
消防法	危険物、圧縮アセチレンガスの保管
労働安全法	安全衛生推進者の選任

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

今回の結果の中で整備台数の増加もあったが、自動車燃料の使用量を削減できた。
一般廃棄物については、大幅に増加しているので、次年度の目標を見直す。
今後も、少しでも削減できるよう改めて全社員に指導していく。また、お客様にリサイクルパーツの利点をご理解頂き、
使用率をさらに向上させて行きたい。我が社がエコに取組み、地球環境に貢献している姿勢をお客様、又、
地域の方々々にアピールして無駄のない健全な会社経営を目指していきます。

環境経営方針	■変更なし	□変更あり
環境経営目標・計画	□変更なし	■変更あり
実施体制	■変更なし	□変更あり